

令和4年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計		事業主体	04600000	市民協働部 文化振興課	
大事業	A1	6つのまちづくり宣言	健康増進	款項目	09 教育費	05 社会教育費	07 文化の森費
		目指す姿	生涯健康で、元気に生きる！	K P I	健康寿命の延伸 健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合		目標値 (男性)81.00歳(女性)86.00歳 70.0%
中事業	02	主要な取り組み	介護のいらないライフプラン		目標年度	令和6年度	
小事業	01	市民ミュージアム活動事業					

イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	博物館は、社会教育施設として、生涯学習の場としての役割を持つ。博物館の「もの・人・場・こと」を活用した市民活動の機会を作り出すことが求められる。				
	事業目的	<p>(1)対象 市民</p> <p>(2)目的 生涯学習を実現する社会教育施設として、数々の催しや講座等を開催する際に、若者から高齢者まで世代を問わず、市民や自主的なサークル、ボランティアが主体的に参画できる仕組みを作ることで、生涯を通して博物館と関わりを持つ市民を育て、様々な世代の交流を通じて、生きがいへとつながり、心身ともに健康的な生き方の一助となる。 また、講座等に参加した市民が、自分も参画したいという意欲を感じ、文化の森を活用する市民を増やす。</p>				
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市民参加の講座やイベントの開催 文化の森ボランティアが活動する講座の開催 朗読の発表公演 など 				
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額 決算額	1,933 967	2,204 1,630	2,091 1,641	1,982	
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	1,130 / 3,300					

アウト プ ット	活動指標(単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	市民ミュージアム活動事業参加人数	目標値 1000	1000	700	700	700
		実績値 286	511	938		

アウト カ ム	K P I (単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	市民ミュージアム活動事業参加者の満足度80%以上	目標値 80	80	80	80	80
		実績値 100	98.7	98.3		

実 績	実績	<ul style="list-style-type: none"> 四季を食べる講座9回 84人 アートな1日講座 7回 82人 森の朗読会 11回 569人 朗読フェスティバル 1回 156人 その他市民向け講座 47人
	効果	「四季を食べる講座」「アートな一日講座」「ていねいな暮らし講座」や朗読会など多様な講座や催しを開催した。企画、運営もボランティアや市民団体の参画によるもので、市民が主体的になって関わることができた。市民が主体的に活動することで、人づてに参加者増につながり、定員数以上の参加者を得ることができた。催事参加者との交流によって、次の活動への意欲を持つことができた。

評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	いずれの講座や催事も参加者人数の目標値を達成することができた。ボランティアや市民が企画、運営に参画し、参加者への呼びかけも行ったことで、市民のつながりが広がり、一定の参加者を得ることができた。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	季節や企画展に関連した内容など、多彩な講座や催事を開催し、いずれも満足度が高い結果が得られた。
	実績からR05年度の事業の方向性	引き続き、市民参画の講座や催しもの開催していく。朗読などは、企画展との関連したものを計画している。

令和4年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計		事業主体	04600000	市民協働部 文化振興課	
大事業	B1	6つのまちづくり宣言	女性若者活躍	款項目	09 教育費	05 社会教育費	07 文化の森費
		目指す姿	女性や若者が輝き、スポットライトが当たるまち！	K P I	生まれる赤ちゃんの人数（年間）		目標値
中事業	02	主要な取り組み	チャレンジ、自分で学べる教育支援		女性や若者が夢をかなえられるまちだと感じられる人の割合		目標値
小事業	03	学習活用事業		目標年度	令和6年度		

イン プ ット	事業実施の背景にある課題	インターネットなどで情報が溢れる現代において、子どもたちが五感を使って学ぶ機会が少なくなっている。文化の森が持つ「ひと・こと・もの・場」、特に、博物館の最大の魅力である「本物」の資料に触れること、そして、学芸員、ボランティアなど様々な人々と交流を深めることで、バーチャル世界では得られない貴重な実体験の学習の場を創設し、子どもたちが主体的に学ぶ姿勢を育成していくこと、さらに、地域の貴重な資料、歴史、芸術と触れ合い、理解を深めることで、自分たちが住む町への愛着と誇りを持ち、未来を担う青少年を育むことが求められる。				
	事業目的	<p>(1) 対象 幼児・児童・生徒</p> <p>(2) 目的 子どもが文化の森を活用することにより、学習に対する関心意欲を一層高め、知識理解をより確実にするとともに、地域をよく知り、地域を愛し、博物館を身近に感じることができる文化的な資質を持つ美濃加茂市民を育む。</p>				
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校活用（博物館での学びの場の提供） ・「文化の森わくわくプログラム」事業（休日などの子ども向け講座） ・中学生ボランティアや職業体験受入れ 				
	事業費（千円）	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	5,775	6,432	7,780	7,274	
	決算額	4,292	5,212	5,839		
	年間の事業に要する時間（正職員/正職員以外）	1,780 /		3,390		

アウト プ ット	活動指標（単位）	R02	R03	R04	R05	R06
	活用可能日数に対する利用日数の割合	目標値	70	70	70	70
		実績値	60.2	61.79	63.9	

アウト カ ム	K P I（単位）	R02	R03	R04	R05	R06
	「文化の森わくわくプログラム」（フォレストくらぶ・ふらっとみゅーじあむ）の満足度80%以上	目標値	80	80	80	80
		実績値	98.6	98.5	96.7	

実 績	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・利用団体数 小学校93 中学校8 幼・保・他6 ・利用者数 小学校4,468人 中学校493人 幼・保・他230人 ・活動実施日 99日（国語科、社会科、理科、生活科、図工、総合的な学習の時間、生活単元等） ・利用率 63.87%（利用日/年間利用可能日）
	効果	教員とともに事前・事後の学習を踏まえた学校活用を立案し、市内全小学校全学年が1回以上は、文化の森で体験学習をすることができた、また、休日の活用として、夏休みの「ふらっとみゅーじあむ」、会員制「フォレストくらぶ」でも、子どもたちの自主的に活動する姿をみるることができた。

評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1学年を2日間に分けて来館してもらうなど、3密を避けるよう対策を施した。今後も継続して予定。目標値には届かなかったものの、ほぼ達成に近い数値となった。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	令和5年度から夏休みの「ふらっとみゅーじあむ」は、以前と同じ当日申込と変更した。多くの参加希望があり、満足度も大変高い結果が得られた。会員制「フォレストくらぶ」も同様で、子どもたちが自分たちで創意工夫をして、作品制作をしたり、他校、他学年の仲間と協同で活動することができた。
	実績からR05年度の事業の方向性	引き続き継続していく。山之上小では白隠、下米田小では津田左右吉など、各学校の地域の特色を活かした活動も新たに計画している。